

平成三十年度入学試験問題 (前期日程)

小論文

人文社会学部 琉球アジア文化学科

注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は、必ず解答用紙に記入すること。問一は表面、問二は裏面に書くこと。
- 三、解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないように注意すること。
- 四、解答時間は、一五〇分である。
- 五、縦書き、鉛筆(シャープペンシルを含む)書きにすること。

非公開

問題

次の文章を読んで、あとの問題に答えなさい。

非公開

非公開

非公開

非公開

(波平恵美子『いのちの文化人類学』新潮社、一九九六年、一〇五―一二三ページ、抜粋・一部改変)

問一、本文の論旨を六〇〇字以内でまとめなさい。

問二、著者は『医療実践』という状況の中では伝統的な医療が持っているこうした『病気を分け持つ』という考え方を現代的に読みかえて取り入れることが必要ではないだろうか。」と述べています(四頁の傍線部)。それに対するあなたの意見を、六〇〇字以内で論述しなさい。

平成三十年度入学試験問題（前期日程）

小論文

人文社会学部 琉球アジア文化学科

出題の意図

琉球アジア文化学科は、琉球・沖縄および日本・アジアの諸地域の言語・文学・歴史・民俗への理解を深めることを目指している。したがって、この学科の入学希望者には、これら諸地域の文化への深い関心はもとより、そうした文化を生み出す社会の仕組みへの持続的な探究心が要求される。問題文は、現代医療の基礎となっているバイオメディシン（生体医学）と、長い歴史を持つ中国医学やインド医学から小さな部族社会が個別に持っている医療まで含む伝統的医療との違いをめぐる問題について論じているものである。本出題の意図は、日本の農山村の伝統的医療の具体的な事例をとりあげて、それが有している利点と現代医療が抱えている問題の明らかにしようとして試みた文章を正確に読み取り、要点を的確に把握できているかを問うものである。加えて、現代医療と伝統的医療の違いに関する著者の見解に対して意見を論述させることにより、問題文に対する受験生の理解力、および独自の発展的な思考力や論理構成力、言語表現力などをみることにある。